

山口県立山口博物館だより for Teachers

<https://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



2025年第2号

山口博物館では、博物館と学校・地域が連携しながら教育を推進するとともに、県民の皆様のご利用を促進しています。

博物館の物的・人的資源を有効に活用していただくために、MT(ミュージアムティーチャー)が行っている、「出前授業」の申し込み方法、「ミニ博物館」の活用例について紹介します。

◇◇◇出前授業の申し込みについてのQ & A◇◇◇

Q.「出前授業」の実施を検討しています。「希望する日を3つまでお伝えください」とありますが、希望日はどのように決めたらいいですか？

A. 山口県立山口博物館ホームページを開き、「教育支援」の画面右側にある「出前授業等利用状況」から、「大きなカレンダーで日程を確認する」を選んで、以下のことを確認してください。

右の図は、9月利用状況(9月10日現在)の例です。

①12日(金)は、すでに「×」印がありますので、新しいお申込みはできません。

②13日(土)は、「△」印と「午前1件 柳井方面 化石レプリカ」の記載があります。

「柳井方面」の「午後」を希望日にすることができ、

「化石レプリカづくり」を希望される場合、調整がしやすいことを表しています。

* 講座の種類によっては、車に積む荷物が大変多く、同じ方面でもお断りすることがあります。

③20日(土)は空欄になっていますので、どの講座でも希望可能です。

①	12	②	13
×		△	
午前1件 防府方面(埴輪づくり)		午前1件 柳井方面 化石レプリカ	
午後1件 山口方面(昆虫教室)			
	19	③	20
×			
午前1件 山口方面(ロボットプロ)			
午後1件 山口方面(葉脈標本づく)			

出前授業等利用状況カレンダー

カレンダーには、予約が確定したものを記載しています。調整中のお出前授業もありますので、あらかじめ電話にて、お問い合わせをしていただきますようお願いいたします。

また、遠方の会場での出前授業については、博物館からの移動時間、1時間程度の準備時間も考慮した上で、希望時間を設定していただけますようお願いいたします。

博物館の資材を地域連携等に役立ててみませんか？

- 児童・生徒と地域の方が一緒に楽しめる行事を企画したい。
- **地域の教育の核としての役割を考えている。**



このような活用も可能です！（例：地域ぐるみの「ミニ博物館」）

（実施までの流れ）

- ① 参観週間等、地域の方が、学校に来られる日を計画する。
- ② 「出前授業」の仮予約（電話）の際に「ミニ博物館」を希望することをMTに伝える。
- ③ 地域の方に「ミニ博物館」の開催をお知らせする。
- ④ 予約した「出前授業」の前後の休み時間に、地域の方に開放した「ミニ博物館」を実施。

「ミニ博物館」

●「ミニ博物館」とは

ミニ博物館は、日頃「出前授業」や「教材貸出」で活用している博物館の教材資料を学校で展示し、小さな博物館として、より多くの方に、貴重な資料を見ていただく取組です。

● 教材貸出との違い

- ① ミニ博物館の教材資料の搬入・搬出はMTが行います。貸し出しに関する手続きは不要です。
- ② ご希望によって、MTが解説を行うことも可能です。
- ③ 「ミニ博物館」の展示は、MTが学校に訪問している時間内となります。



*ご不明な点は、当館担当へお問い合わせください。

山口県立山口博物館の博物館学校地域連携教育支援事業では、博物館の重要な機能の一つである「教育普及活動」を推進するため、地域に開かれた「ミニ博物館」の積極的なご活用をお願いしています。

本年度は、おもに小学校を会場として開かれた11件の「ミニ博物館」（9月10日現在）のうち、6件で、保護者の方や地域の方にも参加していただき、「本物に触れる体験」をお伝えしています。

また、「教材貸し出し」を利用された小・中学校が、その教材を用いて、「ミニ博物館」的な活動をする場合のご相談もお受けしていますので、まずは、博物館にご連絡、ご相談ください。



←詳しくは山口博物館ウェブサイトへ



山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町8-2

TEL 083-922-0294 【担当】

FAX 083-922-0353 西村 紀昭
山本 政嗣